

中 守 破 離



令和7年2月5日（水）第30号

全国学校給食週間

～食を通して健康について考える～

本年度から仁方中学校も学校給食が始まりました。そのため、毎日、安心・安全で工夫された献立に基づいた学校給食を食べることができます。栄養バランスはもちろん、地産地消や行事なども考慮した学校給食を、子どもたちはとても楽しみにしています。

さて、先月は、全国学校給食週間を実施しました。

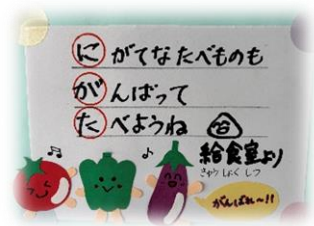
学校給食は、明治22年に山形県鶴岡市の小学校で始まりました。はじめは、学校にお弁当を持ってくることができない子どもたちのために、おにぎりとおかず（塩鮭と漬物）を出したそうですが、昭和7年頃から学校に来られない子や体の弱い子を救うために、全国各地へ学校給食が広まっていきました。

太平洋戦争で食べ物なくなった影響で、学校給食が中止された時期もありましたが、戦争が終わり、食べ物がない日本のために外国から送られた缶詰や脱脂粉乳を使って、昭和21年12月24日から一部の地域で給食を再開することができました。そして、再開を記念して「学校給食記念日」が定められました。

現在、12月24日は冬休みと重なるため、1ヶ月後の1月24日を給食記念日、24日から30日の1週間を「全国学校給食週間」としています。

「全国学校給食週間」中は、学校給食の意義や役割についての理解を深め、関心を高めることを目的として、全国各地で学校給食に関する様々な行事が行われています。

本校では、呉市の郷土料理が中心のメニューを提供していただきました。暖かい給食をいただき、午後からも元気に授業や部活動などにしっかり取り組んでほしいと願っています。



第48回呉市立小中学校特別支援学級合同作品展

1月24日（金）から28日（火）まで、呉市役所1階多目的室で第48回呉市立小中学校特別支援学級合同作品展が開催されました。この作品展は、日頃の学習の成果を広く発表する場であり、本校からは、ひまわり学級 下田 大翔くん、中谷 友香さんの作品を出品しました。数ある作品や制作物の中から、習字や絵などを選びましたが、ひまわり学級では、教科学習以外にも、個に応じた学習を組み入れ、日々学校生活に励んでいます。表現することの楽しさや喜びを味わいながら、今後もアイデアあふれる作品を創作してほしいと思います。



お願い

令和7年になり、呉市立学校の児童生徒が自動車や自転車と接触する交通事故が6件発生しています。幸い、大きな怪我には至っていませんが、自らの交通ルールへの遵守はもちろんのこと、周囲の状況に注意して通行する必要があります。次の注意事項について再度確認してください。



「自らの交通ルールを遵守すること」

- 飛び出し禁止
- 信号を守る
- 横断歩道を渡る

車が来ていないか…横断歩道を渡る前に左右から車がきていないか確認しましょう。

車が止まったか…横断歩道を渡る前に車がきちんと止まったか確認しましょう。

横断中も車を…横断歩道を渡っている間も左右から車が来ないか確認しましょう。



「周囲の状況に注意して通行すること」

- 運転者から予測できない動き（急な進路変更等）をしない。
- 後方から車両（自動車・自転車）が近づいていないか注意する。
- 歩道や路側帯のないところを歩く場合は、原則、道路の右側に寄って通行する。
- 駐車車両や電柱があれば、一度立ち止まって安全確認をする。